



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社 進学会ホールディングス  
 コード番号 9760 URL <http://www.shingakukai.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役COO (氏名) 松田 啓

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO (氏名) 平井 将浩

TEL 011-863-5557

四半期報告書提出予定日 2022年8月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,686	54.1	439		414		354	
2022年3月期第1四半期	3,676	226.2	2,044		2,012		1,997	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 496百万円 ( %) 2022年3月期第1四半期 1,963百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	19.47	
2022年3月期第1四半期	105.65	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	30,426	12,725	41.8	712.94
2022年3月期	28,954	13,678	47.2	745.47

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 12,725百万円 2022年3月期 13,678百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		15.00	15.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,200	57.6	240		130		250		13.62
通期	7,200	48.0	70		140		60		3.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	20,031,000 株	2022年3月期	20,031,000 株
2023年3月期1Q	2,182,300 株	2022年3月期	1,126,226 株
2023年3月期1Q	18,180,489 株	2022年3月期1Q	19,372,274 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響により経済活動において厳しい状況が続きました。

当社グループの主たる部門である教育関連業界におきましては、少子化や将来的な収入不安定等による個人消費の抑制など厳しい環境に直面しており、それらに対応できる施策が必要となってきました。また、教育に関する情勢の変化に対応できるサービスの開発・質の向上が今後ますます求められていくものと認識しております。また、2022年初旬から新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）の拡大を受け、感染拡大防止と経済活動の両立を図る中で、政府による各種政策が実施され、持ち直しの動きも見られましたが、足元の感染者数拡大を受けた自粛要請の強化などもあり、いまだ先行きが不透明な状態が続いております。

当第1四半期の当社グループの運営につきましては、教育関連部門における個別指導の全国展開やAIオンライン塾Go・KaKuの開講など売上増加施策に取り組んでまいりました。しかし、新年度生集客の最重要期である2022年1～3月に新型コロナウイルス感染症が拡大した影響に加え、期中における募集時期に同感染症防止のため自治体・政府からの自粛要請、また、同感染拡大防止に関連した学校の学級閉鎖、学年閉鎖、休校が見られたため新規生の集客において計画を下回る結果となりました。一方、資金運用事業であるSG総研においては、売上から利益重視に運用方法等を変更しております。結果、SG総研の売上高は、1,070百万円（前年は2,974百万円）となりました。

その結果、当第1四半期の売上高は、1,686百万円（前年は3,676百万円）、営業損失は株式市場の変動による子会社における有価証券の評価損の発生により439百万円（前年は2,044百万円の営業損失）、経常損失につきましては414百万円（前年は2,012百万円の経常損失）となりました。なお、当第1四半期に長期債券が償還されたことにより、投資有価証券償還益158百万円が特別利益として計上されております。結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は354百万円となりました。また、特別利益として計上した158百万円は、第2四半期、および通期の連結業績予想に含まれておりますので、連結業績予想の変更はございません。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### イ. 教育関連事業

新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響を受けておりますが、会場のスクラップ&ビルドを進めるとともに、映像配信サービスの充実、採算性の向上に取り組みましたが、授業形態について集団指導中心から個別指導への切り替えの過渡期にあり、今期においては、売上高は294百万円（前年同四半期比23.6%減）となり、146百万円のセグメント損失（前年同四半期は120百万円のセグメント損失）となりました。

#### ロ. スポーツ事業

道内4ヶ所に施設を構えるスポーツクラブZipは、コロナの影響から、昨年より新規生の募集は増えましたが、目標までの水準に届かず、売上高は88百万円（前年同四半期比4.0%減）となり、セグメント損失は7百万円（前年同四半期は3百万円のセグメント利益）となりました。

#### ハ. 賃貸事業

賃貸不動産や学習塾部門の教室の管理・清掃に関わる賃貸事業は、売上高は140百万円（前年同四半期比1.9%減）、セグメント利益は62百万円（前年同四半期比16.2%減）となりました。

#### ニ. 資金運用事業

資金運用事業であるSG総研の売上高は1,070百万円（前年同四半期比64.0%減）、新型コロナウイルス感染症等や世界情勢の悪化による株式市場の大きな変動の影響から、セグメント損失が244百万円（前年同四半期は1,897百万円のセグメント損失）となりました。

#### ホ. その他事業

本セグメントは、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入れ販売を含んでいます。当第1四半期における売上高は92百万円（前年同四半期比14.9%増）、セグメント利益は21百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は18,014百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,883百万円増加しました。固定資産は12,411百万円となり、前連結会計年度末に比べて411百万円減少しました。これは主に投資有価証券が332百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は30,426百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,471百万円増加しました。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、17,398百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,425百万円増加しました。これは主に有価証券の決済日の関係で未払金が2,447百万円増加したことによるものです。固定負債を含めて負債合計は17,701百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,424百万円増加しました。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、12,725百万円となり、前連結会計年度末に比べて953百万円減少しました。この結果、自己資本比率は41.8%（前連結会計年度末は47.2%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）に記載している通りで、現状変更の予定はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,801,170	3,748,045
受取手形及び営業未収入金	125,159	50,988
有価証券	1,134,545	2,934,078
商品及び製品	6,067	5,855
仕掛品	1,001	500
原材料及び貯蔵品	23,013	32,156
未収入金	9,802,068	10,817,834
その他	239,776	426,637
貸倒引当金	△1,265	△1,265
流動資産合計	16,131,536	18,014,833
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,920,477	13,906,883
減価償却累計額	△7,451,300	△7,498,983
建物及び構築物（純額）	6,469,176	6,407,899
機械装置及び運搬具	558,051	557,421
減価償却累計額	△541,379	△542,332
機械装置及び運搬具（純額）	16,672	15,089
土地	4,284,688	4,285,264
その他	943,925	939,021
減価償却累計額	△909,922	△906,468
その他（純額）	34,002	32,553
有形固定資産合計	10,804,540	10,740,807
無形固定資産		
その他	22,222	20,558
無形固定資産合計	22,222	20,558
投資その他の資産		
投資有価証券	1,480,301	1,147,914
繰延税金資産	2,532	293
敷金及び保証金	155,064	149,009
退職給付に係る資産	260,188	262,185
その他	98,368	90,528
投資その他の資産合計	1,996,455	1,649,932
固定資産合計	12,823,217	12,411,297
資産合計	28,954,754	30,426,131

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,784	46,067
短期借入金	5,856,047	5,837,589
未払金	8,661,111	11,109,109
未払法人税等	45,977	87,126
未払費用	75,277	61,814
前受金	167,367	197,925
その他	7,694	59,167
流動負債合計	14,973,261	17,398,800
固定負債		
繰延税金負債	72,083	70,760
役員退職慰労引当金	73,468	76,575
資産除去債務	114,246	111,968
預り敷金保証金	43,328	42,998
固定負債合計	303,127	302,303
負債合計	15,276,389	17,701,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,984,100	3,984,100
資本剰余金	3,344,000	3,344,000
利益剰余金	7,352,942	6,723,659
自己株式	△810,210	△992,104
株主資本合計	13,870,831	13,059,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△283,937	△423,897
退職給付に係る調整累計額	91,470	89,271
その他の包括利益累計額合計	△192,466	△334,626
純資産合計	13,678,364	12,725,028
負債純資産合計	28,954,754	30,426,131

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	3,676,350	1,686,396
売上原価	5,505,876	1,890,895
売上総損失(△)	△1,829,526	△204,499
販売費及び一般管理費	215,052	234,868
営業損失(△)	△2,044,578	△439,367
営業外収益		
受取利息	12,293	4,025
受取配当金	34,101	14,379
その他	13,150	7,984
営業外収益合計	59,545	26,389
営業外費用		
支払利息	3,526	498
為替差損	20,445	—
その他	3,036	1,089
営業外費用合計	27,007	1,588
経常損失(△)	△2,012,040	△414,566
特別利益		
投資有価証券売却益	69,065	—
投資有価証券償還益	—	158,760
特別利益合計	69,065	158,760
特別損失		
固定資産除却損	3,118	1,073
投資有価証券売却損	—	19,426
特別損失合計	3,118	20,500
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,946,093	△276,306
法人税等	51,108	77,747
四半期純損失(△)	△1,997,201	△354,053
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,997,201	△354,053

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,997,201	△354,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,422	△139,960
退職給付に係る調整額	△3,684	△2,199
その他の包括利益合計	33,738	△142,159
四半期包括利益	△1,963,462	△496,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,963,462	△496,213
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。